令和6年1月 斐伊川水系水質情報

令和6年1月(宍道湖9日・中海6日採水)							単位:mg/l(Chl-a: µg/l)			
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.7	△	平年並み	2.6	○	良好	3.1	△	やや低い
全窒素	上層	0.49	△	平年並み	0.31	○	良好(平年並み)	0.53	△	平年並み
全リン	上層	0.036	△	平年並み	0.026	○	良好(平年並み)	0.034	△	平年並み
Chl-a	上層	18	△	平年並み	8.1	△	平年並み	8.7	△	平年並み
塩化物イオン	上層	4,300	×	やや高い	12,200	△	平年並み	9,050	△	平年並み
	下層	5,380	★	かなり高い	17,000	△	平年並み	9,350	△	平年並み
溶存酸素	上層	12.1		平年並み	10.4		平年並み	11.4		平年並み
	下層	6.3		やや低い	6.2		平年並み	11.0		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.6	横ばい	2.9	横ばい	4.2	やや下降
全窒素	上層	0.35	上昇	0.24	やや上昇	0.42	やや上昇
全リン	上層	0.031	横ばい	0.023	横ばい	0.042	横ばい

宍道湖の透明度は2.1mから2.3mと横ばいで、良好。中海の透明度は2.0mから2.7mと上昇し、平年並み。米子湾の透明度は1.5mから2.0mと上昇し、平年並みとなっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	↑	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値	↑	×	<やや高い>
10年間平均値	↑	△	<平年並み>
平均値-標準偏差値	↓	○	<良好> ただし、環境基準値以下の場合には<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	↓	○	<やや低い> (塩化物イオン)
平均値-標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%